



皮膚科・アレルギー科

松戸ひなげし皮膚科

<http://www.hinageshi.jp>

● 診療時間 ●	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30-12:30	○	○	○	休	○	○	休
14:30-18:30	◎	○	○	診	○	/	診

◎ 月曜午後のみ19:30まで診療

※ 受付は診療終了時間の30分前までです

お問い合わせ

TEL 047-711-7476



松戸ひなげし皮膚科

松戸駅西口徒歩2分

1F 松戸駅西口郵便局

〒271-0092
松戸市松戸1305-25 小畑ビル4F

ひなげし通信 No.2



院長 谷野 千鶴子

ひなげし通信

2号 不定期発行

お題「いぼ」

今日は「いぼ」のお話をしようと思います。

「先生、いぼができました!」と、皆さんが私のところへいらっしゃった時、必ずしもそうでないことが多くあるからです。

「いぼ」とは、皮膚の一部が小さく盛り上がっているものを、総じて言っています。なので、皮膚から盛り上がっているできものを、皆さん大概「いぼ」とおっしゃいますね。

けれども、皮膚科医が最も一般的に診る「いぼ」と呼ぶものは、手や足などにウイルスが感染してできる「いぼ」、尋常性疣贅です。よく、同じところに繰り返し力がかかってできてしまう「魚の目」、鶏眼と間違われます。「魚の目」と違って「いぼ」はうつってしまうので、早めに気づいて治療することが大事です。

お子さんを中心に、プールなどで夏場に問題になる「みずいぼ」、伝染性軟属腫は、原因は同じウイルスでもその種類は異なります。また「みずいぼ」といわれるように、水を含んだようにみえる透明なものです。夏のシーズン前には、皮膚の露出や水に入る機会が増え感染が広がることを憂慮して、治療をうながすことがあります。

首によくできるものは、皮膚が伸びてひょいと飛び出たもので、スキンタッグという小さなおできであることが多いです。

顔にしみが盛り上がってできるものは、脂漏性角化症あるいは老人性疣贅といい、年齢とともに増えてくることが多いです。

その中に、悪性腫瘍がまぎれていることもあります。前回にもお話ししましたが、皮膚は身体の全身をおおう「臓器のひとつ」と考えられていますので、判断はきちんとおこなうことが大切です。

気になる「いぼ」を見つけたら、まずはお気軽に診察にいらしてみてください。

そして、お顔に症状がある場合には、皮膚全体をくまなく診せていただきたいので、日焼け止めなども含めてお化粧をしないでご来院ください。